

● (株)東陽九州の工場完成～市の産業振興に大きな期待～

1/24、大分北部中核工業団地に初めて立地表明した自動車関連企業である(株)東陽九州(長谷博彰代表取締役社長)の国内で3カ所目の工場の竣工式が同団地内に建設された工場内で行われました。来賓ほか関係者約50人が集まるなか、神事・式典が執りおこなわれました。同企業は、昨年2月に立地表明を行い、7月に工事着工。建築面積は2,760平方メートルで、天井・喚起・暖房装置などに工夫を凝らし、少ないエネルギーで高い生産性と快適な作業環境を実現する環境調和型工場です。2月1日から操業開始され、自動車用プロペラシャフト部品が製造されます。

